

命の大切さ学習教室に参加して

熊谷雄宇也くんのお母さんに宛てた手紙です。

平成17年11月28日、当時小学1年生の雄宇也くんは、下校途中に乗用車にはねられ意識不明の重体となり、翌29日に亡くなりました。



雄宇也くんのお母さんの話を聞いて、このような悲しい事件が身边にもあったんだなと思いました。ニュースで見ても「えっかーくわいとう」とどこか他人事でしたが、改めて遺族の方々の話を聞いて命の重さ、大切さについて考え直す機会になりました。

一番強く思ったのは他の人はもちろん、自分の命を大切にしたいということです。確かに、いつ死ぬか分かりません。だから、今この1日、一時間、一分、一秒を大切に生きたいと思いました。そして、忘れてはならないのは周りの人の支えもあったからこそ今日まで生きているということを、考えさせされました。けっして、感謝を忘れずに精一杯生きたいと思いました。

そして、このような悲惨な事故を二度とおこさないように、自分自身も気をつけたいです。私は自転車に乗って遊びに行ったり、買い物に行ったりすることが多いので、周囲の安全を確認して乗ることを心がけています。大人になつたら、自動車の免許もとりたいと考えているので、運転する時は、初心を忘れずルールを守って運転したいです。

雄宇也くんのお母さん、命の大切さについて教えてください、ありがとうございました。

学校名

秋田県立聴覚支援学校

氏名 氏名を出さない方は記入しないでください。

より

雄宇也くんのお母さんのお話をきいてくださいありがとうございました。雄宇也くんのお母さんは、「自分の命を大切にしたい。」と思ってくれたことを聞いて、「お話して良かった」と感じてくれると思います。大人になって自動車の免許をとったときは、このお話を思い出してくれたらと思います。



命の大切さ学習教室に参加して

熊谷雄宇也くんのお母さんに宛てた手紙です。

平成 17 年 11 月 28 日、当時小学 1 年生の雄宇也くんは、下校途中に乗用車にはねられ意識不明の重体となり、翌 29 日に亡くなりました。



先日は、お忙しい中、私たちのためにお話を聞いていただきありがとうございました。息子さんのことを話すのは辛いと思いますが、勇気を振り絞って話してくださいありがとうございました。お話をきいて、命は本当に世界で一番尊いものだと改めて感じました。

「人の優しさは一番の心の回復の薬なのかもしれない」という言葉が印象に残りました。辛い思いや悲しい思いをしていた人がいたら、話しかけてみたり、そばにいてあげたりしたいと思います。

また、命の大切さ学習教室を通して、命を大切にすること、産んでくれたことに対する感謝を忘れずに生きること、事故のない社会にするために一人一人がルールを守りお互いにやさしい気持ちをもつことが大切だということを学びました。

学んだことを忘れないで、これからも安全に気をつけて過ごしていきたいと思います。本当にありがとうございました。

学校名

秋田県立聴覚支援学校

氏名 ※氏名を出さない方は記入しないでください。

より

学習教室で感じた感謝の気持ちなどを持ち続けてほしいと思います。自分を大切に他の人に優しさを忘れないよう心掛けください。



命の大切さ学習教室に参加して

熊谷雄宇也くんのお母さんに宛てた手紙です。

平成 17 年 11 月 28 日、当時小学 1 年生の雄宇也くんは、下校途中に乗用車にはねられ意識不明の重体となり、翌 29 日に亡くなりました。



あわしい中、私たちのために命の大切さ学習教室を開いていただき本当にありがとうございました。

雄宇也くんのお母さんのお話を聞いて、私たちが今まで生きてきたことは当たり前のことではないと食付かされました。いつ、どこで事故や事件に巻き込まれても、起こしてしまっても、おかしくないんだと改めて車を運転することの怖さを知りました。私は今、高3で就職先が決まれば、自動車学校に通い、車の免許をとることになると思います。自分の運転で誰かの命を奪ってしまうことがないように、ルールをしっかりと理解して守ることを心掛けたいと思っています。

今、私たちが生きているのは、奇跡で周りの人たちの支えがあるからだとお話を聞いて感じました。命はたった一つだけです。お金で買うことができない貴重で傷いものだと思します。母が命懸けで産んでくれた命を一日一日、大切にして家族を悲しませないように過ごしていきたいと思います。

命の大切さ学習教室することで、命の大切さを深く受け止めてくれる人が増えて、事故のない社会になることを私も祈っています。

貴重なお話を聞かせていただき、本当にありがとうございました。

学校名

秋田県立聴覚支援学校

氏名 * 氏名を出さない方は記入しないでください。

より

車はとても便利な乗り物ですが、運転を間違えてしまうと、大変な結果を招いてしまうことがあります。命の大切さを忘れないよう、交通ルールを守って、安全運転をお願いします。



命の大切さ学習教室に参加して

熊谷雄也くんのお母さんに宛てた手紙です。

平成17年11月28日、当時小学1年生の雄也くんは、下校途中に乗用車にはねられ意識不明の重体となり、翌29日に亡くなりました。



今日は、命の大切さと交通事故について教えてくださいありがとうございました。私が心に残った言葉は、一人の死が多くの人を悲しませ、心に深い傷を負わせることがありますと語っていた場面です。私は改めて一つの命の大切さ、一人の死の重さについて考えさせられました。

交通事故についての話を聞いた時、私は交通ルールをしつかり守り登校、下校をしていても、ルールを守らない人達に事故に巻き込まれる可能性があると知りました。あれと同時にいつどこで起こるかわからない交通事故に恐怖を感じました。

私は、熊谷くんの話を聞くことができても娘がいたと思いました。自分の息子を交通事故で亡くしたつらさや悲しさなどを人々に伝え、交通事故の恐ろしさを教え、息子の死が一歩先へ進みだし立ち直ろうとする熊谷さんの姿は、僕達に生きることを考え方があると思いました。

これからも熊谷さんにしか出来ない交通事故について教え、一つの命の大切さについて考え方や活動力を元気張ってください。

学校名

秋田聰穎支援学校

氏名 ※氏名を出さない方は記入しないでください。

より

ひとつ命が周りの人にとって大切な命であることを考えて
くれてありがとうございます。交通事故は怖いことですが、
皆でルールを守り、防いでいきたいですね。熊谷くんの気持ちを
受け取って感じたことをこれからも大切にしてもらえてたら嬉しいです。



命の大切さ学習教室に参加して

熊谷雄宇也くんのお母さんに宛てた手紙です。

平成 17 年 11 月 28 日、当時小学 1 年生の雄宇也くんは、下校途中に乗用車にはねられ意識不明の重体となり、翌 29 日に亡くなりました。



先日は、命の大切さ学習教室を開いていただき、ありがとうございました。
話を聞き、心がとても痛くなりました。交通事故は身近に起こることなんだと改めて思いました。いつも使っている登校路でも周りを見て行動すべきだと感じました。
私は運転免許を取る予定です。何回も自動車に乗りと必ず気を緩める時が来ます。この時こそ初心を忘れず運転しようと思ひます。
息子さんをして大変な思いをしたと思ひますが、このような講義を開いていただき改めて感謝申し上げます。
最後になりますが、体に気をつけてお過ごしください。これからも活動をじから応援しています。

学校名

秋田県立聴覚対応支援学校

氏名 ※氏名を出さない方は記入しないでください。

松本 拓己 より

「自分が『運転に慣れて気を緩める時が来るかもしれない』と想像できる拓己さんなら、運転免許を取りてもきっと安全に運転してくれることと思います。それは、安全運転のために自分を過信しないことが重要だからです。いつも初心を忘れず、安全に元気に過ごしてください。」

